

国境なき医師団 (MSF) 活動概要

国境なき医師団(MSF)が援助の対象としているのは、さまざまな理由で人道上の困難に直面し、医療を受けることのできない人びとである。MSFの援助プログラムは、活動地で事前に行う調査から推測される需要に合わせて組み立てられている。

2008年度*の海外派遣スタッフの総数は4,617名¹で、同年度の援助開始理由の内訳は、武力紛争(42%)、感染症及び疫病の流行(33%)、社会的暴力及び医療からの疎外(21%)と、自然災害(4%)である²。

2008年、日本から約260名の登録スタッフのうち計52名が延べ65回23カ国のフィールドへ派遣された³。

活動規模の大きい国3カ国 (2008年度)¹

1. コンゴ民主共和国
2. 北スーダン
3. ソマリア

日本から派遣されたスタッフの主な活動地 (2008年度)³

1. スーダン
2. ミャンマー
3. イエメン、ナイジェリア

日本から派遣されたスタッフ数 職種割合 (2008年度)³

1. 医師:21 (32%)
2. ロジスティシャン:15 (23%)
3. 看護師:11 (17%)
4. コーディネーター:7 (11%)
5. 助産師:4 (6%)
6. 薬剤師:3 (5%)
7. アドミニストレーター:2 (3%)
8. 臨床検査技師:2 (3%)

*2008年度とは、2008年1月より2008年12月までの期間を指す。

¹ 出典：MSF Activity Report 2008, pg87 <http://www.msf.or.jp/info/activity/pdf/InterAR2008.pdf>

²出典：MSF Activity Report 2008, pg7

³出典：活動報告書 2008年1月~12月, pg13 <http://www.msf.or.jp/info/activity/pdf/AR2008.pdf>